

# オンライン交流会を積極的に開催

## ポラスグループ中央グリーン開発

### 入居者のコミュニケーションで

ポラスグループの中央グリーン開発が新型コロナウイルス感染拡大の影響後、5月以降において入居者のコミュニケーションを図るためにオンラインによる入居者交流会を実施している。

同グループが手掛けた戸建分譲住宅は入居者から高く評価されている。街並みを考慮した分譲地が評価されていると同時に、住まいについて住む世代を考慮して暮らしや

すさを追求しているからだが、入居後において入居者同士がコミュニケーションを図れるようにきめ細かく対応していることも住む人が安心して暮らせる。

5月17日に初めて開催

初めてとなるオンライン交流会は、5月17日に埼玉県越谷市の「パレットコート北越谷 フロワードヴィレッジ(全64邸)」で開催された。この分譲地で3回目となる植栽ワークショップがオンラインで開催。ビデオ会議ツールを活用しての開始は同社初で、参加者から好評だった。

5月30日

整理収納セミナー

20年4月末から入居開始の埼玉県新座市の「マトコ清瀬(全12邸)」の入居者を対象に、5月30日に「交流会&整理収納セミナー」を開催。参加者同士の紹介、整理収納アドバイザーによる使い方の次第で大きく変わる収納の活用方法のレクチャーなどを行った。

6月27日

IoT説明会

埼玉県和光市の「クロスレンジテンス和光サンテ

イエ(全33邸)」では6月27日、オンラインより「入居者のみなさんでご挨拶&暮らしに役立つ!IoT説明会」を開催している。

7月12日

防災イベント

千葉県柏市の「パレットコート柏たなか エヴァーシティ(全150邸)」では7月12日、オンラインを活用した防災イベントを開催した。減災ラボの協力のもと、災害時に役立つ炊き出しメニューをレクチャーし、その後自宅でのミニ炊き出しに挑戦。その後、全員で試食・交流タイム。最後のプロアドバイザーによる植栽ワークショップを開催。

前述の他に、10棟以下の分譲地合同でオンライン交流会を2回実施している。

いずれの分譲地も日ごろから入居者同士が交流を図っており、積極的に



分譲地「パレットコート柏たなか エヴァーシティ」で開催されたオンライン活用の防災イベント(左)災害時に役立つ炊き出しメニューをレクチャー(右)各家庭で炊き出し体験

参加する姿が印象的だ。これも中央グリーン開発が分譲終了後直ぐにワークショップを同社主導

で開催するなど、入居者が楽しく交流が図れるように配慮しているからだ。